

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	音楽 I	全	2	音楽 I Tutti+ (教育出版)	なし
<p>学習の到達目標</p> <p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>						
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	クラスの歌声を響かせよう	姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技術を身に付ける。		発声の基本を学習するとともに、歌うことの楽しさや、喜びを感じ取ることができる。	
	5月	日本歌曲を歌おう	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり・音楽の特性や曲種に応じた発声との関わりについて理解する。		日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりや旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心を持ち、主体的に歌唱に取り組むことができる。	
	6月	イタリアの民謡や歌曲 ドイツ歌曲の魅力 英語のライムを感じて フランスの歌に親しもう	外国語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などに関心を持ち、自己のイメージを持って歌唱表現を工夫する。		外国語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、楽しみながら主体的・協働的に歌唱に取り組むことができる。	
	7月					
	9月	音楽史	バロックから古典までの楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、様式の特徴を把握する。		各時代における音楽様式の特徴を理解し、その変化や発展の推移を外観することができる。	
後期	10月	物語と音楽との関わりに注目しよう	オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。		曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲想に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。	
	11月					
	12月	音楽史	ロマン派以降の楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、様式の特徴を把握する。		ロマン派以降の音楽の特徴と表現形式の変化などについて理解することができる。	
	1月	アンサンブルを深めよう	調和のとれた創造的な合奏をする。		各自のパートと他のパートとの調和を考えて表現することができる。	
	2月	音のスケッチ	旋律を変化させてみる。		簡単な旋律をパターンに沿って変化させ、演奏することに主体的に取り組む。	

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	美術 I	全	2	美術1(光村図書)	鉛筆・アクリル絵の具・水彩等
<p>学習の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じた表現方法を工夫し、創造的に表すことができる。 ・造形的なよさや表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ることができる。 ・主体的に幅広い美術の分野に取り組み、美術に対する関心を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 						
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	絵画・彫刻 「想像した世界を描く」	「モダンテクニックを用いた想像世界を表現する」 ・シュルレアリズムの作家について ・モダンテクニックについて ・鉛筆の特徴と使い方 ・アクリル、水彩の特徴と使い方		「心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、夢や想像の世界をあらわす」 ・モダンテクニックによる表現方法を創意工夫し、発想や構想を広げ、創造的に表現している。 ・意図に応じて画材や用具の特性を生かしている。 ・夢や想像などから主題を生成することができる。 ・モダンテクニックの特性を生かし、色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的に絵画の表現の創造活動に取り組もうとしている。	
	5月					
	6月	デザイン① 「メッセージを広く伝える」	「伝達を目的としたポスター」 ・伝達するデザインについて ・発想の広げ方について ・文字のデザインについて ・色について(色の3属性)		「伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインする工夫する」 ・色や構図などの造形の要素の働きを理解している。 ・意図に応じた画材や用具の特性を生かしている。 ・伝達するデザインの機能を考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	
	7月					
9月	鑑賞	・作品の鑑賞		・造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。		
後期	10月	映像メディア表現 「アニメーションをつくる」	「映像制作」 ・アニメーションの原理について ・映像表現について ・アニメーションの制作方法について		「さまざまな技法によるアニメーションを知り、表現のしかたを工夫して作品をつくる」 ・意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かしている。 ・絵コンテなど制作を通して、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 ・考えたことを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成している。 ・視点や動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的に映像メディア表現の創造活動に取り組もうとしている。	
	11月					
	12月	デザイン② 「文様で飾る」	「オリジナル文様の手ぬぐい又はトートバック制作」 ・文様について ・凸版について ・生活の中のデザインについて		「日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする。」 ・文様の造形的な特徴を基に作風や様式などを捉え理解している。 ・文様の機能や効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	
	1月					
2月	美術史 「パブロ・ピカソ」 「美術史」	「近代の美術史」 ・美術史		「ピカソの生涯や作品を知り、新たな表現を追求する姿勢を感じ取る」 ・美術作品や文化遺産の歴史や表現の特徴について考え、見方や考え方を深める。		

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	書道 I	全	2	書 I (光村図書)	なし
<p>学習の到達目標</p> <p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>						
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・書道で学習すること(「臨書」「創作」「鑑賞」について、用具、執筆法等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校書写と高等学校芸術書道との共通性と相違を理解できる。 ・用具、姿勢、執筆法、基本点画を表現することができる。 	
	5月		文字の造形を学ぶ(楷書) ・「孔子廟堂碑」「九成宮醜泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」「鄭義下碑」「隅寺心経」の臨書 ・中国や日本の様々な楷書作品の鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 ・様々な楷書作品を鑑賞しながら、それぞれの書の美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。 	
	6月		文字の造形を学ぶ(行書) ・「蘭亭序」「風信帖」「争坐位文稿」,「蜀素帖」「風信帖」の臨書 ・中国や日本の様々な行書作品の鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 ・様々な楷書作品を鑑賞しながら、それぞれの書の美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。 	
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・楷書や行書の臨書の学習を生かした創作活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・臨書で学んだ表現方法や、鑑賞で育んだ感性を土台として、自分が表現したいイメージを作品にすることができる。 	
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・古典(草書)の臨書「真草千字文」 ・中国や日本の様々な草書作品の鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> ・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 	
後期	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・古典(隸書)の臨書「曹全碑」 ・中国や日本の様々な隸書作品の鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> ・自他の臨書作品や、中国・日本の草書、隸書、篆書作品を鑑賞し、それぞれの良さや特徴、美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。 		
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・古典(篆書)の臨書「泰山刻石」 ・中国や日本の様々な篆書作品の鑑賞 				
	12月	篆刻(別冊『篆刻・刻字ブック』) ・篆刻の歴史、篆刻の美について ・姓名印の制作		<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻に必要な用具や用材を知り、篆刻の歴史や様々な篆刻作品の美しさを味わう。 ・様々な作品例を参考にしながら、また「漢字の書(篆書)」で学んだ表現を生かしながら、姓名印の篆刻作品を仕上げるることができる。 		
	1月	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書の用具、用材、姿勢、執筆法 ・基本的な筆使い、いろは歌、変体仮名、連綿 ・「蓬萊切」「高野切第三種」の臨書 ・古筆を生かした創作 ・様々な古筆の鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書の用具・用材、姿勢、執筆法等を理解し、身に付けることができる。 ・平仮名、変体仮名、連綿等、基本的な筆使いを習得することができる。 ・臨書を通して、紙面構成、運筆の律動性、筆脈等、仮名の書の美の特質を理解し、表現することができる。 ・臨書を通して学んだ古筆の特徴を生かしながら創作作品を仕上げる。 ・様々な古筆の特徴を知り、表現方法や美しさの違いを味わう。 	
	2月	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書について(創作の手順、紙面構成、古典の生かし方) ・様々な漢字仮名交じりの書の作品鑑賞 ・創作～自他作品の鑑賞 		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や仮名の古典の美を生かし、字形や文字の大きさ、文字群と余白の関係、配列、書体など、題材に適した表現を工夫することができる。 ・生活に即した書の表現に関心を持ち、その役割を知り、暮らしの中に生きる書について考えることができる。 ・鑑賞を通して、鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさについて考えることができる。 	